



2022年5月13日

各位

上場会社名  藤倉化成株式会社
 代表者 取締役社長 加藤 大輔
 (コード番号 4620 東証プライム市場)
 問合せ先責任者 取締役 管理本部長
 栗原 進
 TEL (03) 3436-1101

第10次中期経営計画(2019年度～2021年度)の総括 及び第11次中期経営計画の公表延期について

当社は2019年度より第10次中期経営計画をスタートしており、2021年度にその三か年計画を終了しました。また、2022年度よりスタートする予定であった第11次中期経営計画につきましては、その公表を延期することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 第10次中期経営計画(2019年度～2021年度)の総括

当社グループは『次世代に繋げる新しい姿の追求』という基本方針のもと、2019年に第10次中期経営計画をスタートしました。世界的に蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制約、部品供給不足による自動車減産の影響や世界的な物流困難、さらに急激な原材料の高騰により、当社業績に影響をおよぼしました。

(単位:百万円)

	2019年度実績 (1年目)	2020年度実績 (2年目)	2021年度実績 (最終年度)	2021年度目標 (2018年時点)
売上高	53,107	49,498	48,214	65,600
営業利益	1,750	1,620	1,229	4,900
経常利益	1,990	1,898	1,449	5,100
親会社株主に帰属する当期純利益	1,235	1,220	741	3,300
ROE	3.7%	3.6%	2.1%	9.0%

第10次中期経営計画につきましては、目標数値と大きく乖離する結果となりましたが、今期間における主な成果につきましては以下のとおりとなります。

- ・コーティング／改正された中国 VOC 規制に対応する UV ハードコートの開発
- ・建築用塗料／高意匠塗料の新規採用獲得
- ・電子材料／細線印刷を可能にする製品の開発により、車載用タッチパネル市場に参入
- ・化成品／機能性微粒子及び新技術であるブロック重合技術を応用した機能性粘着剤の新規採用獲得、メディカル分野では日東紡グループとの合弁会社 FAN を設立
- ・合成樹脂／新型コロナウイルス対策の飛散防止用アクリル板の早期市場投入

また、2020年には社長直轄である「技術戦略推進室」を新設し、当社の強みであるアクリル重合技術を基幹とした技術力をベースに、事業部間シナジーを活かした技術開発体制を確立しました。

その他の取り組みにつきましては、女性管理職の増加への取り組みや男性社員への育児休業取得推進、セカンドキャリア支援制度をはじめとした従業員のワークエンゲージメントを高める取り組みを進めました。

2. 中期経営計画の公表延期について

新型コロナウイルス感染症の変異株による感染拡大の影響や、半導体不足による自動車減産、原材料価格の高騰、さらにはウクライナ情勢に伴う世界経済への影響などから中長期の経済状況の把握が困難であり、不透明感が増していることから、今期公表予定でありました第11次中期経営計画の公表を一年延期することといたしました。なお、第11次中期経営計画については、この一年をかけ、当社グループを取り巻く環境をよく検証・確認し、2023年2月頃を目途に公表させていただく予定にしております。

以上